愛児園竹の子川柳会

トンボのねめがねは水色赤黄色　小4　清原　彩香
春晴れでゆっくり心桜色　高3　松岡奈緒美
ゆっくりに見えて見えない青春期　高1　秋元　悠香
ゆっくりと音をならすな山くずし　小4　槇　晋平
友達と昔話に花さかせ　高1　平　芳香
家族とね話す時間が楽しいな　小6　槇　美鈴
学校が大すきだけどおやすみだ　小2　槇　美琴
早くこい海が待ってる夏休み　中2　槇　美里
小さな子母ちゃんの手が救いの手　小6　植木　真弓
名前はねタマっていうのさねこなのさ　中2　山崎　良太
命名に親の思いを子にたくす　高3　平　知香
その涙伸びる証とこぼれてく　高1　稲葉　菜月
伸び盛り木々も私も成長期　中3　西村　和希
あかいろのふねのおもちゃがほしいなー　小1　宮川　直輝
大船に乗ったつもりでついてこい　中3　井関　健志
才能はぐんぐん伸びて開花する　高3　日浅絵理香

愛治俳句会

歴代の墓に敷り散く夏の萩　稲屋　礼子
十足らぬくちなしの花匂ひたつ　伊原かおる
箒目の上に夏木の影深し　植田　絢子
バイクより下りずに田水見て廻る　氏本佐喜恵
まな板に蟻の来てゐる梅雨最中　岡本　伸子
母子草いろは匂へど散りぬるを　久保田　季
葉裏から角差し伸べしかたつむり　久保田　豊
青田波音なく辷る一輌車　佐々木宗夫
吾が事の出来るうれしさ胡瓜捥ぐ　芝　みさえ
蛍の火数へて峡に老いしなり　末広みや子
梅雨に倦む吾粥食に倦む妹　久保田由布

大きくなったら　広見中学校